

平成25年10月20日
今週のベストショット



青松園B 新町パイレーツ 対 三苦ホーネッツ戦
好リードとオーバーフェンスのHRを放った桐島捕手（左）、
ホーネッツ打線をノーヒットノーランに抑えた吉田投手（中）、
良くも悪くもチームを盛り上げた田村選手（右）

写真：新町ウインズ 城戸和裕

青松園A ジャガーズ、初回一挙7得点でフェニックスに勝利！

塩浜ジャガーズ（5勝4敗3分）7 1 0 0 2 1 0 立石○ー竹尾
奈多フェニックス（6勝2敗3分）2 0 2 0 0 4 池見●、今林勇一実延

HR：立石2（塩浜ジ） 3BH：田中（塩浜ジ） 2BH：稲富、荒木（塩浜ジ）

負けられないフェニックスと勝ち星を増やしたいジャガーズの一戦となった。先発はフェニックス池見投手、ジャガーズ立石投手。一回表ジャガーズは一死後、二番稲富選手がライト横を転がる二塁打を放つと三番立石選手がガツンと目が覚めるようなライトオーバーの2ランを放つ。その後、四番佐藤選手のレフト前ヒットと四球で一二塁とすると六番荒木選手が右中間を破る二塁打で更に1点を追加。あとエラーもあってこの回、一挙7点を挙げる。その裏追いつきたいフェニックスは制球が定まらない立石投手が四死球と今林勇太選手のライトヒットで無死満塁とすると、WPと四球で2点を返す。しかしその後、本塁封殺が続き得点を重ねることが出来なかった。二回表ジャガーズはライト前ヒットで出塁した佐藤選手を七番田中選手が右中間への二塁打で返し更に1点を追加。三回裏フェニックスは四球とエラーで一二塁とすると六番池見選手がタイムリーヒットを放ち2点を返し、8-4と追いすがる。そして四回表、フェニックスは池見選手から今林勇太選手に投手交代する。流れ次第ではまだフェニックスの逆転もあり得ると考えられた。五回表、ジャガーズは一番竹尾選手がセンター前ヒッ

トで出塁すると三番立石選手が鋭い一振りでもたもやライトオーバーのHRを放ち、遂に10得点とする。五回裏何とかしたいフェニックスは二死後、八番今林誠選手がライト前を放つがジャガーズライト道喜選手が素早く一塁に送球、ライトゴロとしゲームセットとなった。初回、池見投手を攻め立て、繋がった打線で7得点を挙げたジャガーズの打線は見事だった。(記事：三友クラブ 駄原孝一郎、写真：大坪和則)



一回表、ホームに返るジャガーズ内田選手。



一回表、左中間へ鋭い二塁打を放つ荒木選手。



一回裏、レフト前タイムリーを放つ今林勇太選手。



二回表左中間に三塁打を放つジャガーズ七番田中選手。



二回表セカンドフライを捕球する今林心一選手。



三回表、橋村選手の打席を見守るジャガーズベンチ。



三回裏、センター前タイムリーのフェニックス池見選手。



三回裏、レフト前タイムリーヒットを放つ実延選手。



四回裏、セカンドに滑り込む西藤選手。



五回表、本日2本目となるHRをライトへ放つ立石選手。



五回裏、あと少しでライト前ヒットだった今林誠選手。



フェニックス打線を抑えたジャガーズバッテリー。

青松園B パイレーツ吉田投手、圧巻のピッチングでノーヒットノーラン達成！！

新町パイレーツ（5勝4敗1分）5 1 0 1 0 0 7 吉田○ー桐島

三苫ホーネッツ（7勝5敗0分）0 0 0 0 0 0 0 井手●、矢野ー松尾

HR：桐島（新町パ） **2BH**：牟田（新町パ） **盗塁**：牟田、升井（新町パ）

一回表先攻のパイレーツは一番桐島選手、二番升井選手の連続バント安打に三番白岩選手の四球でいきなり無死満塁のチャンスを作ると四番大濱選手の三塁ゴロに相手の本塁への悪送球で先制。その後も田村選手のタイムリーや2つのエラーなどで幸先良く五点を奪う。反撃したいホーネッツだったが初回からエンジン全開の吉田投手の前に三者凡退に終わってしまう。続く二回表にはパイレーツ一番の桐島選手が左翼への柵超え本塁打を打ちさらに一点を追加。四回表パイレーツの攻撃は一死から途中出場の牟田選手の左線への二塁打と、この日三安打目となる升井選手の内野安打などで追加点を奪った。四回まで一人の走者も許さなかった吉田投手だったが五回裏一死から味方の失策でついに完全試合が途切れてしまったが後続をきっちり打ち取る。最終回となった六回裏先頭打者の中角選手を再び味方の失策で出塁を許すと二死から代打洲上選手に死球を与えてしまい初めて二塁に走者を置くピンチだったが、最後は落ち着いて三番稲葉選手を打ち取り見事にノーヒットノーランを達成した。パイレーツは桐島選手の本塁打や牟田選手の攻守に渡る活躍で相手に流れを渡さなかった事がこの結果に繋がった。対するホーネッツは初回の三失策による大量失点で失った悪い流れを最後まで挽回出来なかった。

（記事：新町ウインズ 野中一史、写真：城戸和裕）



試合開始の整列。今後の展開は誰も知る由もない。



一回表、ホーネッツの守備が乱れる。



パイレーツ八番田村選手のヒットとレフトがもたつく間に三選手が生還。



流れを変えようと守備を揺さぶろうと試みるホーネッツ一番山崎選手。



二回表レフトにオーバーフェンスのHRを放ち悠々とダイヤモンドを回るパイレーツ一番桐島選手。



なんとか塁に出ようとセーフティバントを試みるホーネッツ永島選手。



味方にいじられながらもヒットを放つパイレーツ吉田選手。



五回裏、相手エラーで初出塁のホーネッツ松尾選手。



試合終了の整列、予想外の幕切れ。



今日のヒーローは、桐島捕手（左）吉田投手（中）、田村選手（右）??

奈多グラウンド 両投手立ち上がり不安定の中、決着をつけたのはサンデーズの女房役、荒口捕手の強肩による盗塁阻止！！

雁ノ巣ライナーズ 3 0 0 1 0 4 塚本○ー荒口

奈多サンデーズ 5 0 0 0 × 5 鳥越●ー明瀬（旭）

盗塁：中口、池内、鳥越（雁ノ巣）、野々下、大沼（奈多サ）

心配された雨は降らず、爽やかな風が吹く中試合開始。一回表ライナーズの攻撃は、一番中口選手の絶妙なバントヒットから、続く池内選手の送りバントはピッチャーのエラーを誘い一三塁とし、頼れる三番久保田選手のセンター前ヒットにて早くも1点！六番国崎選手の打席でのWPにて二三塁とし、センター前2点タイムリーヒットで3点目を先取する。一回裏、奈多サンデーズは、二番野田選手のセンター前ヒット、続く三番秋山選手の痛烈なレフトライナーヒットにて二三。塁ここでライナーズ鳥越投手の二連続WPにて2点を献上、続く四番野々下選手さらに五番大沼選手も四球にて出塁し、さらに連続WPにて二三塁とし、六番宮口選手の技ありライト前2点タイムリーにて4点目！川原選手の送りバントの後、荒口捕手のライト前ヒットにて初回5点を返した。初回より波乱の予感でスタートしたが二回以降は、両投手の持ち前のピッチングにて両チーム得点できず、迎えた四回表、なんとかしたい鳥越投手が自らレフト前ヒットにて出塁、すかさず盗塁、続く明瀬航選手の内野安打にて一二塁のチャンス。本日2安打の中口選手の打席へつなぐとこの後、鳥越投手の相手バッテリーのすきをつき三塁へスチール成功！！一三塁で同点のランナーを一塁におき中口選手へ期待。この場面で一塁ランナーの明瀬航選手が盗塁を試みるが、サンデーズ荒口捕手の強肩による二塁タッチアウト！！しかし中口選手は四球にて出塁すると、塚本投手のWPにて鳥越選手が4点目のホームイン！中口選手も三塁まで進塁するが池内選手のショートライナーにてスリーアウト！最終回、五回表、三番久保田選手がこの日2本目のヒットにて同点のランナーとして出塁するが後続が倒れ、ゲームセット！！本日の試合は、一回の両投手のWPからピンチを招いた得点の取り合いから始まり四回表、明瀬航選手の盗塁を阻止した荒口選手のファインプレイが光った試合でした。

(記事：ブルーマーリンズ 末松勝祝、写真：井上優貴)



一回表、先制打を放ったライナーズ三番久保田選手。



一回裏、サンデーズ秋山選手の痛烈なレフト前ヒット。



一回裏、サンデーズ宮口選手の2点タイムリーヒット。



一回裏、宮口選手5点目のホームイン。



一回裏、八番荒口選手の決勝打となったライト前。



四回表、追撃のレフト前ヒットを放った鳥越投手！



1点差に迫る鳥越選手の好走塁の後のホームイン！



最終回、先頭の久保田選手が出塁するも後続が続かず。

雁レク9 フレンズ打線が12安打で毎回得点の21得点と大爆発で今季2勝目！

三苦フレンズ（2勝9敗0分）5 4 4 8 2 1 山口○-佐藤

三苦三球会（4勝6敗0分）4 1 2 0 7 大津●、原口-山崎

HR：大津、右山（三球会） **2BH**：生野（猛）（三苦フ） **盗塁**：生野（猛）、肥喜里、生野（拓）（三苦フ）

三苦フレンズは初回一死から四球と四連打、WPで一挙5点を挙げ、優位に試合を進めるかと思われたが、その裏三球会も5失点を自らのバットで取り返そうと五番大津投手の3ランを含めて4点を返す。しかしフレンズも二回表、相手の連続エラーで無死一二塁とすると、四番山口投手の二打席連続タイムリーとWP、七番肥喜里選手のタイムリーで3点を取り返す。二回裏に1点を返された三回表フレンズは、一死満塁としてセカンドエラー、八番御手洗選手の2点タイムリーなどで4点を取り、つけ放しにかかると思われた四回表、3安打6四死球にWPで計8点を挙げ勝利を決めた。三球会も三回裏に六番右山選手がライトオーバーのHRを放ったが、反撃もここまで。終わってみればフレンズが12安打13四死球3盗塁21点を挙げ21-7で今季やっと2勝目を挙げた。三球会はエース吉留投手の不在と主軸の藤澤選手の戦線離脱が大きく尾を引いた形となった。

（記事：レッドサンデーズ 八島久徳、写真 前田篤史）



熱い点の取り合いの前の挨拶。



三球会先発の大津投手。



一回表、フレンズ三番佐藤選手のセンター前。



続く四番山口選手のセンター前タイムリーで先制。



初回から猛攻を仕掛けるフレンズ打線。



何とかホームタッチアウトで6点目を阻止。



初回から大量点もらったフレンズ先発の山口投手だったが・・・。



一回裏、三球会四番大津選手の3ランなどで1点差に。



二回表、WPなどで4点をフレンズに献上。



二回裏、この回先頭の八番山崎選手のセンター前。



しっかり守備の確認をするフレンズ内野陣。



三回表からリリーフした三球会原口投手。



取ってれば・・・。



三回裏、三球会右山選手がライト越えHRを放つもここまで。

第20週編集後記

WSLの皆さん、コンニチハ！

第21週、10月20日は4試合が行われました。

青松園Bの新町パイレーツ対三苦ホーネッツ戦で大記録が生まれました。
パイレーツ吉田投手が見事ノーヒットノーラン達成です！オメデトウゴザイマス！！
吉田投手は一回表に5点のBIGプレゼントを貰い、許したランナーはエラーとDBの3人だけでした。打って

は2三振でしたが、最終打席にヒットを放ち、写真にあった「味方にいじられながらのヒット」とはこういうことだったのですね。女房役の桐島選手も柵越えの一発で花を添えました。ホーネッツは昨年の奈多サンデーズ戦に続き二年連続でノーヒットノーランを喫してしまいました。

青松園Aの塩浜ジャガーズ対奈多フェニックス戦は、初回一死から四球を挟んで5連打とジャガーズ打線が火を噴き、昨年の優勝投手の池見投手を攻略。中でも三番立石選手がフェニックスの池見、今林勇太両投手から右越えHRを放ち、完投勝利を収めるなど目を見張る活躍で10-4の勝利。フェニックスはここにきて大きな黒星です。

奈多グラウンドの雁ノ巣ライナーズ対奈多サンデーズ戦は、初回3本のヒットで3点を挙げたライナーズでしたが、サンデーズが4安打とWPなどですぐに逆転。乱打戦になるかと思いきや、二回以降はサンデーズ塚本、ライナーズ鳥越両投手とも落ち着きを取戻し、迎えた四回表ライナーズはヒットの鳥越投手が自らの足で稼いだ1点でついに1点差。昨年が続いて5-5の引き分けも伺えたが、自力で勝るサンデーズが二回以降は無安打に抑えられながらも4-5で逃げ切りました。サンデーズはこの試合勝って、勝ち点2をゲットしたことが大きいでしょう。

雁レク9の三苦フレンズ対三苦三球会戦は、エース吉留投手を欠く三球会投手陣をどうフレンズが打ち崩すかでしたが、ふたを開けてみればフレンズが12安打、毎回得点で21-7とトリプルスコアで圧勝し今季2勝目を挙げました。フレンズは初回5点を取り、楽勝ムードになるかと思えば、エラーと三球会五番大津選手の3ランで1点差まで迫られるなど、いつものフレンズが垣間見えました。しかしそれ以上にのびのびとしたプレーが目を引きましたね。この試合でフレンズ生野猛一塁手がしっかり若い山口投手や内外野に声をかけている姿が特に印象に残りました。